第8回 世界の化石展

ー化石は太古の記憶、神の彫刻であるー

（医）康仁会　理事長　　髙比 康臣

日時：平成29年12月13日（水）～19日（火）
午前10時～午後5時
土日（16日・17日）：午後1時 ～午後5時

場所：西の京病院　4Fメビウスホール

髙比理事長による

説明会：13日（水）、19日（火）　いずれも午前10時30分～

【ご挨拶】

西の京病院は昨年10月、お蔭をもちまして30周年記念式典を行うことができました。その為、「世界の化石展」はお休みさせていただきましたが、今年はさらにグレードアップして第8回「世界の化石展」を開催します。

化石というと古いものでは、三葉虫やアンモナイトを、また新しいものでは魚や貝、木葉などを思い浮かべる人が多いと思います。

我々日本人はエビ、カニ、イカなど、世界で最も多く食べていますが、それらのルーツ（起源）や化石についてはほとんど知りません。今回は、それらに加えて、ほとんどの人がその“完全な化石”の実物を目にしたことがない稀少なタコやクラゲの化石も展示しています。恒例の虹色アンモナイトも展示しています。